

「部屋に勝手に入らないでよ！」

ある日突然、娘に怖い顔で言われたことがありました。小学生の頃までは、一度もそんな言い方をしたことはなかったのに・・・。

「うるせえ、くそばばあ！」

中学生の息子を持つ知人は、最近こんな風に言われ、とてもショックだったと言っていました。言葉がナイフのように胸に突き刺さり、悲しくなったと・・・。

「子育てハッピーアドバイス」シリーズの著者、明橋大二（あけはし だいじ）氏によると、思春期は、「中 2 の 2 学期がど真ん中」とのこと。個人差はあるけれども、平均をとるとこれぐらいだと言います。

なるほど。思春期で反抗期だからこその言動なのかと、頭では理解することができました。でも、いざ反抗期の子どもを前にすると、うろたえてしまいますよね。

しかし、「反抗したら、ひと安心」なのだ、明橋氏は言います。

なぜなら、思春期は、甘えと反抗、依存と自立を繰り返す。つまり、反抗できるということ、親がちゃんと育ててきて、自立に向かっている証拠の一つだからとのこと。

なるほど。反抗しても親に見捨てられる不安がないから暴言を吐けるのかも・・・。

でも、そんな反抗的な言動を受け止められるほど、心にゆとりはありませんよね。

さて、みなさんはいかがでしょう。そんな時、一体どうしたらいいのでしょうか。

明橋氏は、「思春期の言葉は外国語だと思えばいい。つまり、子どもの言葉をそのまま受け取るのではなく、翻訳をする必要がある」と言います。

例えば、以下のように翻訳します。

「くそばばあ」→「お母さん」

「ぶっころす」→「怒っているんだよ」

「うざい、知らねえ」→「放っておいてね」

そこで、私も翻訳してみました。

「部屋に勝手に入らないでよ！」

→「ドアをロックすれば、入ってもいいからね」

「うるせえ、くそばばあ！」

→「お母さん、放っておいてね。今、ぼくがんばってるから！」

などといったところでしょうか。

いずれ、感情が高ぶった相手の言葉を、外国語とみなして対応するとは、なんて面白い発想なのだろうと私は思いました。これだと気持ちが少し軽くなります。それに、この対応の仕方は、お子さん以外にも様々な場面で応用可能なのではないのでしょうか(*^_^*)

思春期に「反抗したら、ひと安心」「暴言は、外国語とみなして翻訳する」

それがわかっているならば、なんだか安心できる気がします。【A】

※ 参考：松尾英明「二十代で身につけたい！」教育観と仕事術 第1312号

※ 次回のメルマガ配信は、10月13日（金）になります。

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)）

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」
>すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」（次回から直接、メルマガを受信することができます）

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

[URL:http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/](http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/) 「まなびネットいわて」で検索